

第4回

上島町学校の在り方検討委員会

(第2期)



令和7年8月24日(日) 9:30~

せとうち交流館 多目的ホール

第4回 上島町学校の在り方検討委員会 次第

日 時 令和7年8月24日（日） 午前9時30分から

場 所 セとうち交流館 多目的ホール

1 開 会

2 教育長挨拶

3 議 事

(1) 前回の確認について

(2) 統合場所について

(3) その他

(4) 今後の検討委員会の予定

4 閉 会

1 第3回検討委員会での確認事項（答申への記載内容）

(1) 統合の形態について

- 小学校1校、中学校1校への統合を目指す

(2) 統合時期について

- 令和10年度小学校、令和11年度中学校の統合を目指す

2 今回（第4回検討委員会）の協議事項

(1) 統合場所について

- ・ 統合パターンは次の4パターンがある。

①弓削小ー弓削中、②弓削小ー岩城中、③生名小ー弓削中、④生名小ー岩城中

形 態	
小中別設 ②③④	○ 設置場所が分散することにより、各島の地域感情がある程度緩和される。
小中併設 ①	○ 小中学校合同行事が持ちやすい（運動会等） ○ 県教育委員会が進めている、中学校教諭による小学校での授業（兼務）がしやすい（R7 小学校体育科で一部実施）

- ・ 防災・避難施設、スクールバスについて → 前回資料（追加）参照

(2) その他（答申内容に記述すべきこと等）

第4回上島町学校の在り方検討委員会資料（第3回資料と同じ）

令和7年8月24日

上島町立小中学校 学校適正配置について

(1) 小学校

	形態	方法	メリット	デメリット
①	1校に統合	弓削小を使用	・施設規模(運動場、体育館)に余裕がある ・教室数に余裕がある ・オープンスペースがある ・魚島小との交流が容易 ・(弓削港→弓削小約1km 徒歩約10分) ・高い場所に立地 ・避難所(体育館)：地震・津波・台風高潮・豪雨土砂 ・一時避難場所(駐車場)：地震・津波	・岩城方面からの移動距離が長くなる ・(岩城小→弓削小約15km 約20分、生名小→弓削小約6km 約10分)
②	1校に統合	生名小を使用	・オープンスペースがある ・岩城、弓削の中間地点 ・校舎が一番新しい ・施設規模(運動場)に余裕がある	・運動場の狭さ ・(弓削小9,907㎡、生名小2,380㎡、岩城小7,220㎡) ・魚島小との交流が難しい ・(弓削港→生名小約5.2km 約10分) ・低い場所に立地 ・避難所(体育館)：地震・台風高潮・豪雨土砂 ・一時避難場所(グラウンド)：地震
③	1校に統合	岩城小を使用	・施設規模(運動場)に余裕がある	・標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える ・個別施設計画により、長寿命化は不適切 ・弓削方面からの移動距離が長くなる ・(弓削小→岩城小約15km 約20分、生名小→岩城小約10km 約15分) ・魚島小との交流が難しい(弓削港→岩城小約14km) ・低い場所に立地 ・避難所(体育館)：地震・台風高潮・豪雨土砂 ・一時避難場所(グラウンド)：地震 へリ離発着場
④	2校に統合	・弓削小 ・生名小 (生小+岩小)	・岩城方面からの移動距離が緩和される ・統合の変化が最小限に抑えられる(弓小変化なし) ・同規模校が2校できる ・弓削小は高い場所に立地	・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある ・生名小は低い場所に立地
⑤	2校に統合	・弓削小 ・岩城小 (生小+岩小)	・統合の変化が最小限に抑えられる(岩小変化なし) ・同規模校が2校できる ・弓削小は高い場所に立地	・岩城小が標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える ・個別施設計画により、長寿命化は不適切 ・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある ・岩城小は低い場所に立地
⑥	2校に統合	・弓削小 (弓小+生小) ・岩城小	・統合の変化が最小限に抑えられる(岩小変化なし) ・弓削小は高い場所に立地	・岩城小が標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える ・個別施設計画により、長寿命化は不適切 ・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある ・岩城小は低い場所に立地
⑦	2校に統合	・生名小 (弓小+生小) ・岩城小	・統合の変化が最小限に抑えられる(岩小変化なし)	・岩城小が標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える ・個別施設計画により、長寿命化は不適切 ・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある ・生名小、岩城小とも低い場所に立地

(2) 中学校

	形態	方法	メリット	デメリット
㉑	1校に統合	弓削中を使用	・校舎が新しく、バリアフリー化(エレベーター) ・魚島中との交流が容易 ・(弓削港→弓削小約1km 徒歩約10分) ・デジタルサポートルーム設置 ・一時避難場所(弓削小駐車場) ・へリ離発着場所：グラウンド	・岩城方面からの移動距離が長くなる ・(岩城中→弓削中約10.5km 約18分) ・低い場所に立地 ・避難所(町民体育館)：地震・豪雨土砂
㉒	1校に統合	岩城中を使用	・教室数に余裕がある ・高い場所に立地 ・避難所(開発総合センター)：地震・津波・台風高潮 ・一時避難場所(グラウンド)：地震・津波	・弓削方面からの移動距離が長くなる ・(弓削中→岩城中約10.5km 約18分) ・魚島中との交流が難しい ・(弓削港→岩城中約9.5km 約20分) ・周辺道路が狭く、災害時の避難・援助が困難

(3) 魚島小中学校 ・地元生がいなくなっても、離島留学制度を継続予定

[メモ]

